



監修 三浦隆俊 山崎三 教授 名譽教授 名城大学 立太学 大阪大学 立太学 関西学院 名譽教授

御座船図屏風

第四卷 本編 近世2 目次

第五章 酒井家姫路藩の成立

- 第一節 酒井家の系譜と姫路藩領…………… 関西学院大学名誉教授 三浦俊明
- 第二節 酒井忠恭・忠以時代の藩政……………
- 第三節 酒井家家臣団の構成と家中屋敷の構造……………

第六章 近世中後期の町と村

- 第一節 近世中後期の町政…………… 関西学院大学名誉教授 三浦俊明
- 第二節 姫路町内の構造……………
- 第三節 米価の高騰と施行……………
- 第四節 近世中後期の村…………… 神戸大学名誉教授 八木哲浩(故人)
- 第五節 灘日塩業の近世的展開…………… 文学博士 廣山堯道(故人)

第七章 諸産業の発達と社会

- 第一節 藩財政と藩札…………… 神戸女子大学副学長 今井修平
- 第二節 商工業の展開と専売制…………… 広島県立文書館 西向宏介
- 第三節 姫路町・飾万津・網干湊の商業…………… 関西学院大学名誉教授 三浦俊明

第八章 地域社会の変動

- 第一節 社会制度の成立と村方騒動…………… 神戸女子大学副学長 今井修平
- 第二節 身分差別の形成と展開…………… 武庫川女子大学名誉教授 安達五男

第九章 文化の諸相

- 第一節 藩主とその周辺の学芸…………… 佛敎大学名誉教授 竹下喜久男
- 第二節 教育と文化の動き……………
- 第三節 芸能の展開……………
- 第四節 近世中後期の姫路の俳諧…………… 姫路獨協大学教授 富田志津子

第十章 幕末期の政治情勢

- 第一節 欧米勢力との接触…………… 大阪市立大学・名城大学名誉教授 山崎隆三
- 第二節 安政開港後の政治的潮流の対抗……………
- 第三節 維新前後の姫路藩……………

付 図 (別袋)

- 一 姫路城下浸水被害図
- 1 写真(絵図総カラー)
- 2 解説図

酒井氏姫路藩時代の歴史

本編第四巻近世2の刊行にあたって

このたび『姫路市史』第十六回配本、本編第四巻近世2を発刊することになりました。本巻は本編第三巻近世1の続編であり、姫路藩主酒井氏が寛延二年（七四九）に姫路へ入封してから明治維新期にいたるまでの姫路地域の歴史を叙述しています。従来は名著『姫路城史』の影響によって姫路城を中心にした歴史が重視されがちでしたが、本巻は酒井家文書に加えて姫路町の町方文書、大庄屋や庄屋文書などをふんだんに使つて、より豊かな近世姫路の歴史を描いています。裏面の章・節をご覧になればその概略はご理解いただけると思いますが、たとえば次のような記述があります。

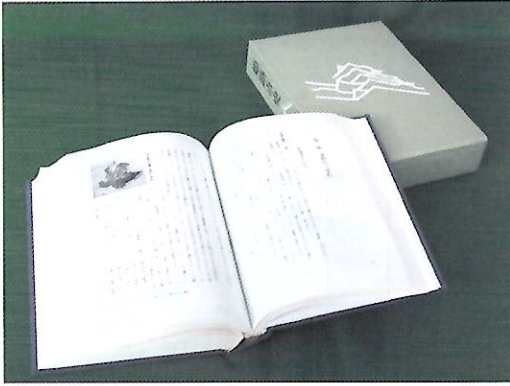
1、最近、兵庫県立歴史博物館の特別企画展によつて二躍有名になつた御座船、図屏風の左隻（裏面の写真）には、將軍や大名が乗船する御座船七一艘が描かれています。姫路藩酒井家の御座船は市川の河口に当たる阿成村付近にみえます。それは白地に朱色で酒井家の家紋である劍齧草（劍片喰）紋を表した船印と白地に黒線を引いた帆印から成つています。

2、酒井家文書のなかに「家臣録」（仮称）という史料が三種類あり、これには各家臣の禄高、その変遷、役職、親子間の相続、藩士間の姻戚関係、賞罰等の履歴が年月順番に記録されており、多くの情報を得ることができま

きます。これらを用いて幕末維新期における姫路藩の政治動向をみると、勤王派は中・下級武士、佐幕派（保守派）は上・中級武士という一般的な構図は、姫路藩の場合にも当てはま

ります。この他に木綿専売制、固寧倉、好古堂、風羅堂といった経済、文化関係の記述も豊富です。本巻を通読することによつて、従来見逃されてきた近世中・後期以降の姫路藩の歴史を見直すことができると思います。

「二読くださることをお勧めいたします。」



全巻構成と既刊案内

本編	資料編	史料編	別編
第一巻 上 自然	第七巻 上 自然	第八巻 古代・中世1	第十四巻 姫路城
第一巻 下 考古	第七巻 下 考古	第九巻 中世2	第十五巻 上 民俗編
第二巻 古代・中世	第六巻 近現代3	第十巻 近世1	第十五巻 中 文化財編1
第三巻 近世1	第五巻 下 近現代2	第十一巻 上 近世2	第十五巻 下 文化財編2
第四巻 近世2（今回発刊）	第五巻 上 近現代1	第十一巻 下 近世3	第十六巻 年表・索引
（既刊）	（既刊）	第十二巻 近現代1	
		第十三巻 上 近現代2	
		第十三巻 下 近現代3	

購読申込みについて

書名 姫路市史第四巻 本編 近世2

本のかたち A5判 上製本 中性高質紙使用

装丁用織物表示 貼箱入

頒価 五、〇〇〇円 送料五〇〇円

（二部につき）

頒布方法 郵送希望の場合

●現金書留・郵便為替
左記住所までご送金下さい。

直接購入の場合

城内図書館 史料整理室、
市政情報センター（市役所1階へ
お越しください。

申込先

〒670-0012

姫路市本町68-258

（日本城郭研究センター）

城内図書館 史料整理室

TEL(079)289-4886

FAX(079)289-4891